

第十回福崎町柳田國男ふるさと賞 中学生の部 受賞

福崎駅・駅周辺の歴史

福崎西中学校二年 原 田 真 優



一、はじめに

私が住む駅前区には福崎駅があり、最近では、福崎駅周辺整備事業により、駅周辺が、私の小さい頃とは大きく変わりました。また福崎駅も、今ではイベントが開かれるようになったり、観光交流センターができたりと、小さい頃とは大きく変わりました。新しくなった駅を見ると、「昔の福崎駅はどんな町並みだったのだろう、駅周辺はどんな町並みだったのだろう」と気になりました。そこで、福崎駅、駅周辺の今と昔を比べ、昔はどんな町並みだったのかを調べることにしました。

○予想

車がまだ普及していない時代、当時の人たちの移動手段には楽で身近な汽車が用いられ、福崎駅はたくさ



んの人々にぎわい、駅周辺はたくさんの方が住む住宅地だったのではないかと。

二、調査の手順

福崎駅・福崎駅周辺を調べる。

①聞き取り調査

・私のおばあちゃんに聞く。

②文献調査

・図書館で調べる。

・町役場で調べる。

③現地調査

・駅や駅周辺に実際に行く。

○聞き取り調査（私のおばあちゃんに駅周辺のことについて）尋ねた。

・昔はよく、子ども（私のお母さん）をつれて、自転車で駅前商店街に行っていた。

・特にいづみや百貨店（今はもう無い）に行くのが多く、体操服や日用品、文房具などを買っていた。おもちゃや浮き輪も売っていた。

・肉屋さんや魚屋さん、八百屋さん、服屋さん、お好み焼き屋さんなどが



あった。（商店街に）

・駅前商店街には、歩行者や自転車で乗った人が通ったりしており、人がたくさんいた。

・店の前では店員さんとお客さんが話していることがほとんどで、とてもにぎやかだった。

・さくら屋というケーキ屋さんが福崎駅の近くにあったため、和菓子やケーキ、贈りものなどをよく買っていた。

・駅前ニューセンター「なぐさ」というスーパーが駅周辺にあった。

○文献調査

町役場に駅などについての資料があるか探してみましたがありませんでした。福崎の図書館では資料を探すことができました。

○現地調査

現在の福崎駅、福崎駅周辺の様子はどうなのか、現地に行ってみました。行った場所：駅前商店街・福崎駅

三、調査結果

○福崎駅

①福崎駅の歴史

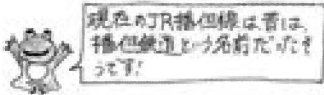
1893年7月……：播

但鉄道の工事開始

1894年7月25日……：姫路から寺前間が開通す

る。福崎駅が建設される。

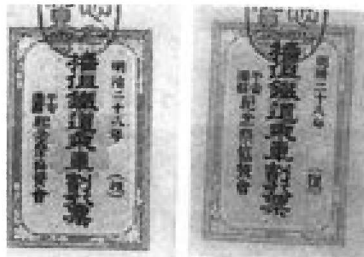
1895年4月……：播但



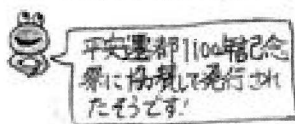
鉄道（姫路～生野）が全線開通する。

1903年6月……：播但鉄道を買収する。（山陽鉄道）

1906年……：国有化により、国有鉄道播但線となる。



播但鉄道乗車割引票(1895年)



1936年……：駅舎改築
1959年……：播但線無煙化要望

(1960年から機関車のディーゼル化が進む)

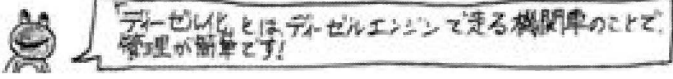
1972年……：播但線無煙化（ディーゼル化）

1973年4月1日……：貨物の取扱を廃止する。

1987年……：JR播但線となる。

1998年……：姫路から寺前間が電化される。

2019年10月6日……：福崎駅周辺整備事業が完了する。



②写真で見る福崎駅の歴史
大正時代



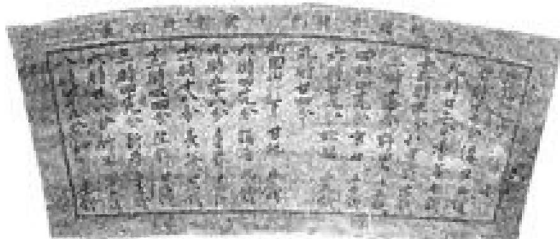
福崎駅プラットフォームでの記念撮影(駅員と運送取扱員一列)



上り列車「8402型」蒸気機関車



福崎駅正面



福崎駅よりの発車時刻表(姫路行き上り、和田山行き下りの発車時間と各駅への運賃が書かれてある。)



福崎駅プラットフォーム

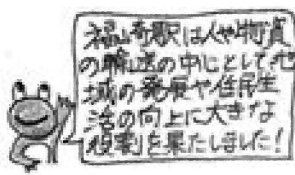
昭和時代



改装された福崎駅(昭和11年)



福崎駅凱旋歓迎風景(昭和8年)

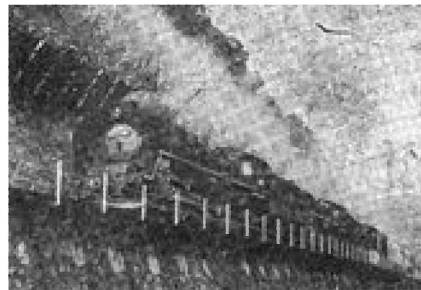


福崎駅改装記念撮影



電化記念(姫路～寺前間)出発式(平成10年)

平成時代

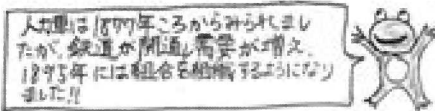


山崎・千束付近を走る最後の蒸気機関車



無煙化の要求が高まり1960年から機関車のディーゼル化が進んだ。

令和時代



福崎駅前的人力車(昭和初期)

③福崎駅の発展

と人力車が福崎駅に増え、最もいきおいのある時には車夫(人力車をひく人)が40人もいたそうです。(大正末期になると14人になりました。)

播但鉄道が開通すると、福崎から北条(現加西市)間に乗合馬車が走るようになりました。同じ年に運送店が開業しました。1895年になる



竣工式典の様子(令和元年10月6日)



現在の福崎駅 駅前観光交流センター。アマビエのベンチなどがある。(現地調査時に撮った写真)

1922年になると、新しい乗り物として自動車などが登場し、フォードなどの外国車を使って、乗合自動車(バス)が福崎駅から北条間を走るようになりました。また、1923



福崎駅と北条間を乗合で往復していた。(明治頃)

年には貸切自動車の営業も開始され、駅から一時間は4円、一日は35円、

一里は1円80銭で営業してました。



福崎駅前にあった運送業者(時間不詳)みみや百貨店があった場所で営業されていた。鉄道貨物を取り扱っていた。

○松茸

神崎郡は松茸の産地としても有名でした。「伏見宮殿下(皇族の方々)のご來駕を賜った」という記録も残

されています。大正14年の生産額は184トンの631万円で、福崎の松茸として阪神地方へ輸送し、遊客でにぎわってました。また、大正時代は秋になると臨時松茸列車が増発され、阪神地方から茸狩り客で、福崎駅周辺は大変な賑わいでした。私のおばあちゃんに駅周辺のことについて聞き取り調査すると、「駅前商店街にはよく行っていた。」と言っていたので調べてみました。

○駅前商店街

播但鉄道が敷



昔の駅前通り(1932年)



松茸狩り客でにぎわう福崎駅前(大正頃)

在の駅前商店街になりました。そこでは人口も増加し、駅前には発展して、明治末頃には百戸以上の大字を形成し、郡内の重要な商業地になりました。

〈私の母が子どもの頃駅前商店街にあつた主な店〉

- ・ 福崎書房
- ・ いづみや百貨店
- ・ スーパーなぐさ
- ・ 菓子さくら

○駅周辺にあつたいろんなお店や建物

播但鉄道が開通し、交通の便がよくなったことで、人通りが多くなった駅周辺には、昔、たくさんのお店や建物がありました。



昭和30年代の駅前通り



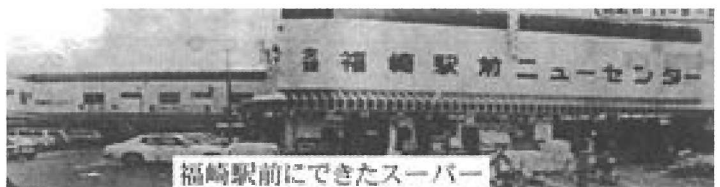
形成された駅前通りの様子が伺われる(1923年頃)



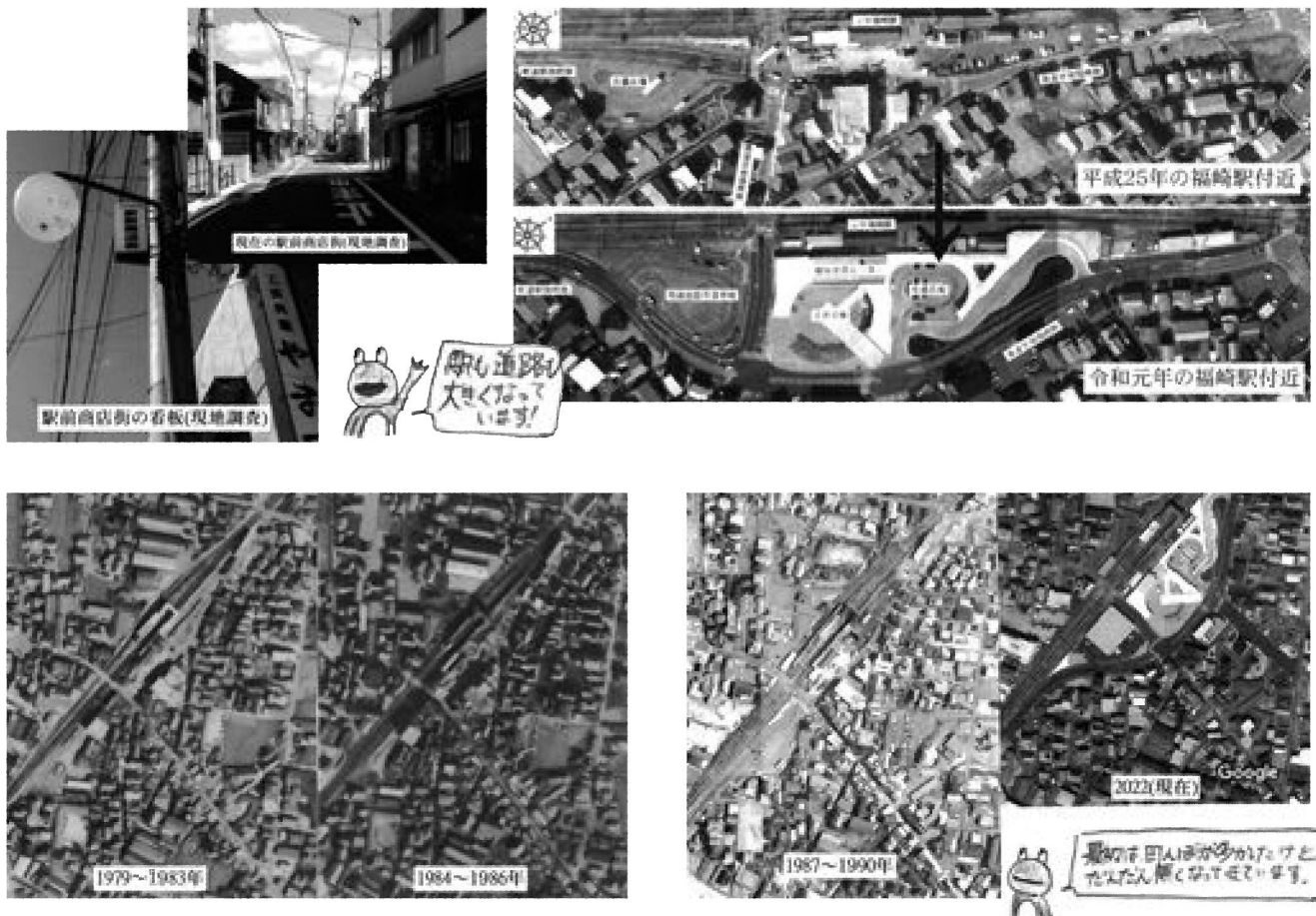
福崎駅から西の様子(大正末) 田圃が広がっている場所もあった。



福崎劇場(1931年7月24日) 完成当日の写真

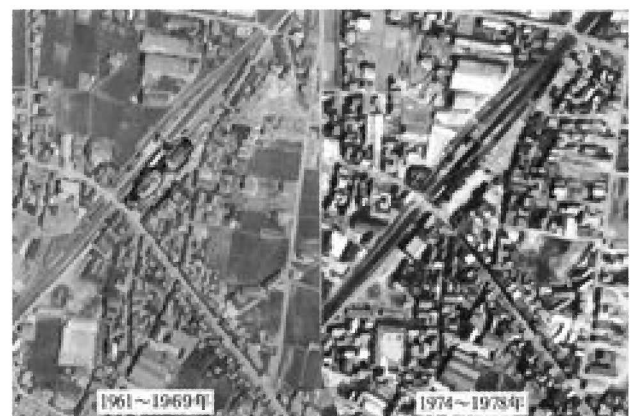


福崎駅前にできたスーパー



普段何気なく通っている福岡駅や福岡駅周辺には、こんな歴史があるのかとおどろきました。特に福岡駅に昔、機関車が走っていたことにおどろきました。また、劇場やスーパ―があったことなど、その建物が今も残っていたら福岡駅周辺はどうなっていたのだろうと思いました。今回、「昔の様子」について調べましたが、昔の遊びも気になったので調べたいです。調査するとき、特に駅前商店街についての資料が少なく、探すのが大変でした。いつもはインターネットで調べがちですが、このような図書館の資料から自分で調べ

四、おわりに



ることは、とても大切だと思いました。調査に協力してくださった皆さん、ありがとうございました。

五、参考文献

- ・ 福岡名人まちあるき（魅力編）
編集 福岡町総務課
制作 株式会社ぎょうせい
平成18年3月発行
- ・ あたりべ 第十六集
編集 福岡町あたりべ会
平成9年11月1日発行
- ・ 福田村史
編集人 福田村歴史研究会
制作 株式会社風詠社
2022年3月発行
- ・ 国土交通省国土地理院HP
//maps.gsi.go.jp
- ・ 近畿運輸局
//www.tbmlt.go.jp
- ・ Googleマップ
//www.google.com/maps
- ・ 地域のお宝再発見
・ わたしたちの郷土ふくさき
昭和52年度版

第十回福崎町柳田國男ふるさと賞 小学生低学年の部受賞

福崎町の公園について

高岡小学校三年 尾崎 琴



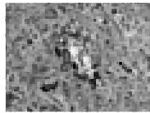
◆はじめに

福崎町の公園巡りをしていたら、福崎町で一番最初にできた公園はいつなのか知りたくてたまらなくなりました。だから調べました。でも「公園」ができる前、子どもたちはどこでなにをしていたのでしょうか。それでも知りたくまりました。わたしはこの二つを調べることにしました。

◆今ある公園

①福崎町スポーツ公園(百才の森)

ここにはせみが多いし、せみのしがいもたくさんおちていてふみそうになります。でも、ローラーすべり台は楽しいです。下から上へのぼっていったりして楽しいです。



②駅前じどう公園

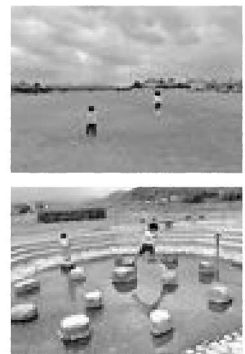
ここは草がはえていてお店やさんごっこができます。おわたたあと手が茶いろくなっていたら水道があるのでべんりです。

③市川河川公園

ここは川があります。芝生があるからこけてもいたくないし、バスケットゴールもあるからバスケットができます。ピクニックもできます。ゆうぐも少しあります。ここは水場がある



から、わたしは石をジャンプして遊びました。



◆むらの方にインタビュ

おじさん

Q: 小さいころ「公園」はありましたか？

A: なかった

Q: 小さいころどこでなにをして遊んでいましたか？

A: 冬はターザンごっこや自分で作った木刀でチャンバラごっこやかくれが作り、きんま(そり)を作ってすべる。公民館やじんじやのけいだいで遊ぶ。夏は川遊び(上流から下流まで一日かけて遊ぶ)水泳や魚つり、石づみ、人数はたくさん(一〜六年生みんなで遊ぶ)遊ぶ物はみんなで作っていた。

おばさん 奈良県出身(七十二才)

Q: 小さいころ「公園」はありましたか？

A: あった(ぶらんこやすな場だけ)

Q: 小さいころどこでなにをして遊んでいましたか？

A: 冬はマラソン、へやでカルタや

小さい子のめんどう見。夏は川でするめを使ってザリガニつり、魚つりもできた。おじさんと同じく山で遊ぶこともある。春から秋までせつこの遊び。はらっぱで運動会の練習。ねんれいはさまざま。リーダーがいる。↑(おばさん)

◆役場へインタビュ

Q: 福崎ではじめてできた公園はどこですか。また、いつですか？

A: 駅前児童公園。(昭和五十三年前後かもしれない)ふれあい広場なら、さくらふれあい広場。駅前児童公園とさくらふれあい広場なら、さくらふれあい広場の方がとても古い。



Q: 福崎町スポーツ公園はいつできましたか？

A: かんせいは平成八年

Q: 市川河川公園はいつできましたか？

A: 平成十二年

◆まとめ

わたしは昔の遊びをしらなかつたけど、この自由研究をして、きんま(そり)や魚つり、ほかにいろいろとしらない遊びがたくさんありました。できそうなこともあれば、できないこともありました。



インタビューしたおじさんの子ども時代の福岡町は、公園が一つもないことがわかりました。わたしは、家の周りに虫や川などの自ぜんがあるから、おじさんやおばさんと少しは同じことができません。でも、自ぜんのない町の子たちは、公園がないと外で遊びにくいと思います。だから、安全な公園はたくさんひつようだとわかりました。さいごに、福岡町にはたくさん公園があるけど、もう一つだけ公園がほしいです。赤ちゃんや高いいしゃ、車いすの人たちが遊べる「みんなのための安全公園」を考えて絵にかきました。さんこうにして作ってください。

第十回福岡町柳田國男ふるさと賞 小学生高学年の部受賞

土かべとしっくいの考察

田原小学校五年 井 藤 千 都



1 動機 (きっかけ)

わたしの家は土かべで作られています。3年前、家を



お父さんと自宅の壁を塗っている私 当時7才

たてる時に土かべをぬる体験をした
り、左官やさんがかべにしっくいを



2 土かべやしっくいの歴史

しっくいの歴史はとても古く起源は今から5千年前のエジプトのピラミッドといわれています。ピラミッドのほかにも古代ギリシャやローマ時代の遺跡か



5000年前のピラミッド

らも砂をまぜた石灰モルタルの形で使われていたことが分かっています。まだ生がわきのしっくいのの上に絵を描く「フレスコ画」としても使われてきました。ほかにもしっくいを使った古い建物が残っています。

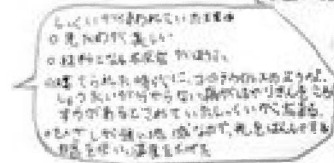
世界にあるしっくいを使った歴史的な建物



【ギリシャのアテネのパルテノン】



【中国の万里の長城】



日本におけるしっくいの歴史は、1300年前、奈良、平安時代といわれており、セメントがない時代に高級な物として、きめられた建物に

○福崎町の建物を調べてみよう!

1 旧神崎郡役所跡 (原宿町2-1-1 神崎歴史民俗資料館)

福崎町の歴史を伝える資料館。旧神崎郡役所の跡地に建てられた。展示品は、福崎町の歴史を伝える貴重な資料が数多くあり、興味のある方はぜひご覧ください。



2 柳田國男生家跡 - 民俗学の志の源 -

民俗学の祖である柳田國男の生家跡。明治10年に建てられた。現在は、民俗学の資料が数多くあり、興味のある方はぜひご覧ください。



家でも、土間を
使っています。



建物の中のわくわく
し、いろいろな
ところを見学
して、土かべや
土間に、いろいろ
と見学して、

昔の福崎町の
写真を取って
ました。土の標子



が、し、く、や、土かべであることが
自覚の写真が、よく分りました。
今とは、ぜんぜんちがうと思、い、し
た。

土かべや、土間に、
使われて、
ました。



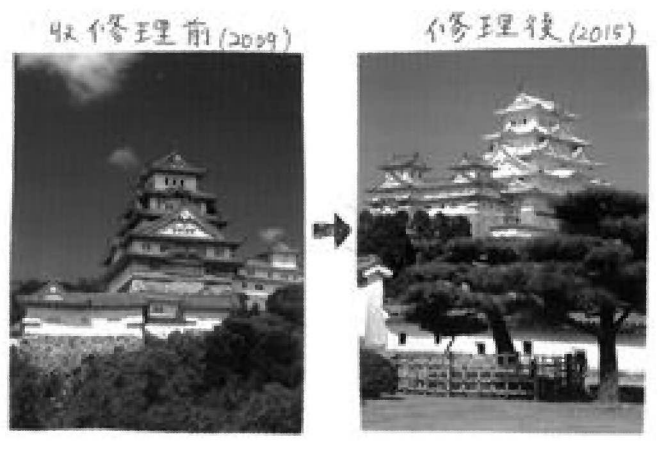
使われていました。一般的な社寺が多かったです。多くの一般の家は木で作られていましたが、江戸時代に入り江戸や地方で火事がおこり、住たかどうかよく近づいているので火事が大火事になっていたそうです。そこで、もえにくく、手がるに手に入る「土」を使った土かべが広がったといわれています。そして、さらに防火作用があるとされているしっくい、大切な物をしまふ蔵にぬるようになったといわれています。現在はかたんに使える建材がたくさん出てきて、土かべやしっくいを使った建物がへってきています。

私たちの住む兵庫の姫路城は世界遺産として有名ですが、姫路城にもしっくいが使われており、その白い姿は白鷺城とよばれています。

姫路城は、2009年から5年半かけて修理を行いました。この修理でしっくいをぬり直しました。しっくいのあつさは3cmもあるそうです。あまりに白すぎると話題になっていましたが、現在ではわたしが見なれたか、色がおちついたのかわからなけれど、わたしは白すぎるとは思いません。

3 三木家の保存工事がからかべやしっくいを調べてみよう!

三木家は、保存工事をすることに当たって、どの時代ぐらいまでの建物に復元するかなやんだそうです。やんだ結果、江戸時代から大正時代ぐらいまでの様子を復元することになりました。どこまでなおすかは、むずかしいと思いました。



★ 大庄屋 三木家住宅

兵庫県指定重要有形文化財



民俗学の父・柳田泉男生誕の地 兵庫縣福崎町

Uchiyama Representative M&A Business Cultural Property Designated by Hyogo

大庄屋三木家の仕事
〜どこの大きな家なのかな?〜

た〜くさんの庄屋をとりまわって
ら〜とほ〜みんのかい人だぞ
のか〜と〜い〜ましたよ海も突
た〜と〜思〜う〜の〜に〜た〜く〜又〜の〜人〜を〜や
と〜て〜い〜か〜ら〜大〜き〜な〜家〜に〜あ
て〜いた〜の〜か〜な〜と〜思〜い〜ま〜し〜た
大〜き〜く〜ら〜た〜く〜さん〜あ〜ん〜け
な〜い〜の〜か〜な〜と〜思〜い〜ま〜し〜た

三木家の建物

三木家の居敷地は現在約1.8ha(約563坪)で、敷地内には主屋(表平屋)、内蔵、裏丸、北蔵、西蔵(西蔵蔵)、表蔵、表門が現存し、西蔵は~~一部~~で埋まっています。これらの建物の建物をすべてが、昭和17年に兵庫縣重要有形文化財に指定されました。

主屋の建築年代は明らかではありませんが、平成22年度から実施した保存修理工事に伴う文化財調査で、2階部分から墨書が発見され、宝永2年(1705)に建てられたことが判明しました。部屋は奥4間、裏4間の6室に分かれ、一部に2階を設けます。建築当初は表蔵側の2階はなく、元文2年(1705)に増築されました。

副棟・櫓は宝永2年(1705)の増築で、櫓は家の向まわりに飲食配膳の役割を取り入れています。

三木家住宅は建築当時の姿をよく残した大庄屋遺構として、建築学的に貴重であると同時に、近世においては、民俗学者・柳田泉男、生物学家佐田幸三(後の高木忠)との関わりも深く、地域を代表する文化遺産です。現在、土留部分の保存修理工事が終わり、部分公開しています。



宝永2年から宝永4年建築

主屋の建築年代を判明する墨書(部分公開)

主屋(表平屋)

建築年代:宝永2年(1705)
構造及び形式:杉行1間、梁間4間、つし2階建(角半平屋)、
入母屋造、本瓦葺、付・支障無の掃き出し窓、
西側障子障子、内蔵向通廊

内蔵

建築年代:宝永2年(1705)
構造及び形式:杉行3間、梁間15間、2階建、
入母屋造、本瓦葺

表蔵

建築年代:宝永2年(1705)
構造及び形式:杉行4間、梁間4.5間、2階建、
入母屋造、本瓦葺

西蔵

建築年代:元禄10年(1697)
構造及び形式:表蔵、2階建、切妻造、本瓦葺

表蔵

建築年代:明治前期
構造及び形式:表蔵、2階建、切妻造、本瓦葺

西蔵(2階)

建築年代:元禄2年(1713)
構造及び形式:表蔵、2階建、切妻造、本瓦葺、
付・支中障子

内蔵

建築年代:江戸後期
構造及び形式:表蔵、2階建(一部平屋)、
切妻造、本瓦葺

表門【解体中】

建築年代:江戸後期
構造及び形式:
2階建、博入切妻、
北切妻造、本瓦葺

表門

建築年代:
明治7年(1874)
構造及び形式:
切妻造、本瓦葺、
付障



保存修理工事時の三木家住宅



宝永2年から宝永4年建築
た〜くさんだ!!

姫路藩大庄屋として

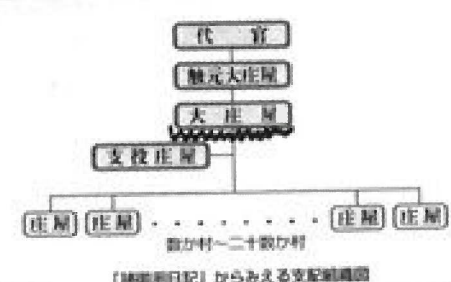
大庄屋三木家の職務(仕事)

江戸時代、福崎町域の村々はすべて姫路藩領でした。領主は村々を代官、大庄屋などを通じて支配していました。姫路藩では、数か村から二十数か村ごとに大庄屋組が設けられ、庄屋の上に大庄屋が置かれました。

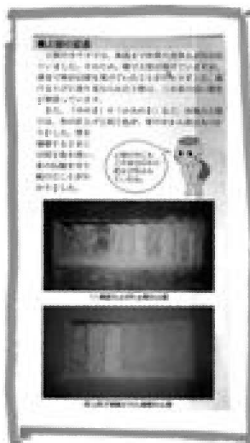
大庄屋の職務は多岐にわたり、職務上多くの書類を作成、入手していました。三木家に伝わる『諸御用日記』は、6代通明が書いた職務日記です。当時、北川組は21か村からなり、日記には、これらの村々を統括する大庄屋の日々の職務にかかわる多様な記事がみられます。

『諸御用日記』にみる大庄屋の主な職務

- 藩からの触れを村々へ伝達
- 庄屋から藩宛の願書や諸届の取り次ぎ
- 組内の年貢米の徴収や諸役の村々への割り当て
- 水利普請などで資材・人材の調達、監督
- 村々の取り締まり
- 争論・訴訟の調停



『諸御用日記』からみえる支配制構造



地域にふくまれている
土がちがうので、し
り便は、土の色にも
こだわっています。
※土は、自然の恵みです。
※土は、自然の恵みです。



土はぬてかかいて整えたり、逆し
める職人の手間とかが、たぶん
つまっていることか命かかります
しんどそう。私には、できないな
と思います。職人さんはすごいです。



4 お父さんはどうして手間のかか
る土かべやしつくいの家にしたの？
—お父さんにインタビューして分
かったこと—
お父さんは、「自然と体にやさし
い家になりたい。仮に家をつぶしてし
まっても極力自然にかえる家づくり
にしたい」と思って、土かべやしつ
くいにこだわったそうです。土かべ
の下には竹小舞という方法（三木家
に使われているやり方）も考えまし
たが、木ずりという方法でしました。
木も自然にかえるからです。
かべになる土は、地元の土にわら
と水をまぜて発酵させ使います。昔
からの方法で発酵させると粘りが出

て、ひびわれにくく、強さが出てき
ます。また、土かべ自体がこきゅう
をするので、空気環境を整えます。
さらに、あたたまった地面がさめに
くいのと同じで保温に役立ちます。
そして、土も自然にかえります。
しつくいは、アルカリ性でじんを
よせつけないので、カビを防ぎます。
しつくいはそれだけではかべにつか
ないので、海そうをたいて、のりを
作り、まぜて使います。これも10
0%自然にかえります。私は住んで
いて、あつたかくてすずしいのでお
すすめです。でも住むまでに時間か
かりました。
5 おじいちゃんにも聞いてみた、
家づくりのリユース
お父さんの言っている「使ったも
のすべてが自然にかえる」は、リユ
ースにつながると思います。つぶし



○ 自分でも調べてみた土かべとしつくい

	土かべ	しつくい
材料	竹、土、海そう、のり	土、石、石灰、のり
特性	※湿気をとる、ひびくりにくい、呼吸性がある ※カビ防止 ※保水性がある	※土まきりこみで土と空気の隙間を詰める ※保温効果・断熱効果がある ※土まきりこみで土と空気の隙間を詰める

たら、土にもどるのもう一度、か
べに使うことができるからです。お
じいちゃんに聞いたたら、おじいちゃん
が中学生のころに、家をつぶして
建て直したそうです。つぶした家の
土を持ってきた新しい土とまぜて、
今の家の南側のかべにぬったそう
です。昔の人は、生活の中であたりま
えのように、エコロジーなことをし
ていてすごいなと思いました。

このように、昔の人は生活の中
からいろんなことを見つけて生活に活
かすことをしていました。身の回り
の物を使って、活かしてすごい
など、えらいなと思いました。

土かべのよさ 5つの特徴	
①健康にいい	自然の素材に作られているので、人の体の害のある物をふくんでいない。
②空気を調節する	呼吸をするように、息を吸ったり吐いたりして室内の湿度を調節、カビやダニの発生を防ぐ。
③火災に強い	火災が起ると、土かべは燃やさないで、燃え残るから燃焼でとどめてくれる。
④気温を快適にする	夏は外の暑さを遮り、冬は家の暖かい空気を保つ。
⑤ゴミにならない	これらも、自然に帰る素材なので、地球環境にやさしい。

■左官の環境改善効果

●燃焼処理でCO₂を削減



●材料をリサイクルできる



●建物はCO₂を吸収



●土管は温度を一定に保つ



●ヒートアイランド現象を抑制



○自宅の土かべ作りを見直してみよう!!



①土とわらを混ぜる

水



※ 混ぜ合わせた土は赤色く、ねっとりしていました。



②土とわらを混ぜて乾燥をすすめる

(※有り) ④かべの下地を作ります。



③いよいよ材料の混ぜだ!!!

※ さくら色、赤色がすむと、混ぜた土の色が赤く、ねっとりしています。お好みで、お好みの色に調整します。



※ 乾燥がすすむと土の色が、くすんだ色へと変わります。

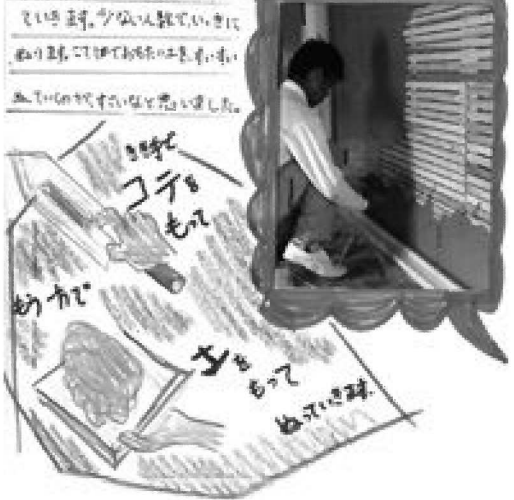
⑤下地の土かべもぬっていきます



○しっくい作り



左官



MIX



しっくい作り
しっくい作り
しっくい作り
しっくい作り
しっくい作り
しっくい作り



土台が木製
土台が木製

土台の土台はぶつ
ぶつにぬり、しっくい
ぬり重ねていきます。
重ねたのにつくしっくい
しっくい土をまけたものを
最後にしっくい色を
つけた15mmの厚さです。



厚みは15mm
しっくい色



何層にもかき重ねて、きれいな、白なしっくい色
で仕上げていきます。さわりとひやりしています。
人の手でぬっているのに、ざらざらしてなくて、平ら
で美しいです。私がいたら、でまぼこになってしまいそ
うです。海苔の代りになることに、びっくりしま
した。100%自然のめぐみで作られているんだなと
思いました。

しっくい作り
しっくい作り
しっくい作り
しっくい作り
しっくい作り
しっくい作り

〇しゅいの交力果について調べてみよう!!

今回は、〇しゅいの交力果について調べてみよう!!

実験 土の種類や、水、肥料の量、温度などによって、〇しゅいの交力果の生育は変わります。

仮説

- ①石のボロボロ+702
- ②新しい土
- ③新しい土+水
- ④発酵土
- ⑤発酵土+水

〇しゅいの交力果は、水と肥料を必要とする。



水は、植物の成長に必要不可欠です。水不足になると、植物は萎縮し、葉が枯れ、最終的には死んでしまいます。

肥料は、植物が成長するために必要な栄養素を提供します。適切な肥料を使用することで、植物は健康に成長し、収穫量を増やすことができます。



〇しゅいの交力果は、水と肥料を必要とする。

〇しゅいの交力果は、水と肥料を必要とする。



〇しゅいの交力果は、水と肥料を必要とする。



〇しゅいの交力果は、水と肥料を必要とする。



〇しゅいの交力果は、水と肥料を必要とする。



〇しゅいの交力果は、水と肥料を必要とする。



〇しゅいの交力果は、水と肥料を必要とする。



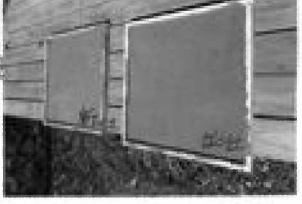
〇しゅいの交力果は、水と肥料を必要とする。

〇しゅいの交力果は、水と肥料を必要とする。



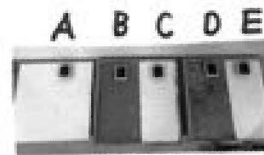
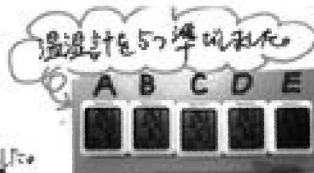
ねがいの通りでせんせしちがいました。見たかにもわらもなく(しゅい)しては

のは、発酵土の方でした。例やすかやせんせしちがはした。昔の人の知恵があります。



かいた工場で使って
いいよ又+!!!
(実験1)

ホトにホトの湿度に合わせ
て30分待たせれば又+スタート
します。ホトをホトの湿度に合わせ



	A	B	C	D	E
室温	26.5℃	26.5℃	26.5℃	26.4℃	27.4℃
湿度	70%	67%	67%	66%	65%

8/17 (前)

	A	B	C	D	E
室温	26.5℃	26.4℃	26.6℃	26.5℃	27.4℃
湿度	70%	71%	71%	69%	65%

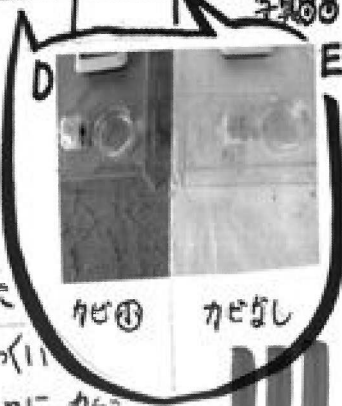
8/18 (前)

	A	B	C	D	E
室温	26.3℃	26.3℃	26.1℃	26.0℃	25.9℃
湿度	62%	80%	96%	73%	77%

8/26 (前)

	A	B	C	D	E
室温	27.8℃	28.1℃	28.6℃	27.5℃	27.4℃
湿度	77%	80%	91%	94%	99%

8/19...
8/21
湿度25%で
乾燥させた
お砂糖の
結晶



変化 カビ

実験をしてみても...

発酵土についてたくさん聞いたけれど、発酵土とい
は、豆やヨーグルトなどのように体にはいい
けれど、さらせるイメージもあつたので、私の最初
の予想では新しい土はいいが、一番カビがはえに
くいと思っていました。けれど、結果は、発酵土はいい
が、一番カビがはえませんでした。湿度が高いのに、カビ
がはえにくいのは発酵土が育てるからということがわかりました。

74.7°
湿度



6 福崎町のかべの変化

(1) 調査方法

外側にしっくいが使われている家を調べました。車で各村をまわり、使われている家をカウントしていきましました。外側から通っているだけで正しく見れていないかも知れません。また、通れていない所があるので、見るはいいでやってみました。結果は、次の表のとおりです。

村	世帯数	しっくいであろう家の数	村	世帯数	しっくいであろう家の数
長目	112	26 約23%	井ノ口	105	16 約15%
中島	239	17 約5%	北野	102	17 約16%
上中島	82		辻川	502	17 約3%
西光寺	417	20 約4%	田尻	489	12 約2%
八反田	114	8 約7%	大門	345	69 約20%
吉田	158	21 約13%	かじたに	74	12 約16%
西野	170(21)	7 約4%	かめつぼ	13	5 約38%

(2) 調査から分かること・考えたこと

・ 田原校区に住んでいる人の家は、しっくいの家が少ない事が分かりました。昔の田原校区の写真を見ると、しっくいの家などは、とつても多いけど、今では、しっくいの家も少なくなっています。

・ 世帯数の多い①辻川②田尻③西光寺は、世帯数が多いわりにしっくいであろう家の数が少ないことが分かります。世帯数にしめるしっくいの家の割合を調べました。割合が2けたの村は長目、吉田、井ノ口、北野、大門、かじたに、かめつぼでした。割合が多い村は、わりと昔の風景が残っていると考えられます。逆に割合が少ない村は、新しい町なみであると考えられます。だから田尻は新しい家が多く、今の福崎町の姿をあらわしていると考えられます。しっくいの家がへったのは、たぐさんの家を建てる材料が出てきたことが理由と考えます。時代に合わせて、景色はへんかしていくものだなと思いました。

(3) まとめ・調べたこと

・ 昔の人は、身近な物から素材を見つけて工夫して使っていました。自分たちの生活をよりかいてきにするためには何をどうしたらいいのかを考えて作っていました。

にびっくりさせられました。

・ 職人さんは、すぐに職人さんになれません。どんな仕事でも、そうだと思うけど、コツコツ考えて仕事をつみ上げていくことで本物になっていくんだと思います。そのコツコツした「わざ」の上に家や景色はどんな作られていくんだと思いました。

・ 自然でリユースしている昔の人のしせいを見習いたいです。

・ 私のお父さんは、自然にかえる家を目ざして、仕事をしていると知りました。自分たちのことだけじゃなくて、地球のことも考えているので見直しました。

7 最後に

私は土かべとしっくいの家に住んでいて、あたたかいし、すずしいし、きもちいいです。へってきている土かべやしっくいかべですが、私は、あらためて、そのよさをみなさんにぜひすすめてみたいと思いました。古いものも、いいものです。人の手で作り出すことはすてきだと思います。

柳田國男ふるさと賞

福崎町が生誕の柳田國男先生は生前、「日本人とは何か」という問いの答えを求め、日本列島各地に赴き、その地の民間伝承等を調査、研究され、日本民俗学の確立に貢献されました。

その先生の功績を称え、町では小中学生に、より深く民俗学を学んでもらおうと平成25年度から「福崎町柳田國男ふるさと賞」を創設しました。

このふるさと賞は、夏期休暇などを利用し、自ら、郷土の歴史やそこに伝わる伝説・習俗などを調査、研究しまとめられた作品の中から優れたものに贈られます。

今回は10回目を迎えることとなりましたが、今までの作品をみますと、今、調べて残しておかないといずれ忘れられてしまうだろうと思われる貴重な作品がたくさんあるのに驚かされます。

第2の柳田國男が誕生することを願い、郷土に愛着と誇りを持つ子どもに育ってほしいと創設した賞ですが、その副産物として、多くの作品が町の貴重な資料になっています。

このふるさと賞に参加いただいた皆さんに感謝を申し上げますとともに、引き続き柳田國男ふるさと賞への応募をお待ちしております。